

Title	編集後記
Sub Title	
Author	佐藤, 拓磨(Satō, Takuma)
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科内『法学政治学論究』刊行会
Publication year	2023
Jtitle	法學政治學論究：法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.139 (2023. 12) ,p.384- 384
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-20231215-0384

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

〔編集後記〕

1. 今回は、投稿論文一一点のうち九点が掲載された。
2. 第一三〇号より、提出方法が変更された。新投稿規程を通過して、疑問点、不明な点がある場合には、なるべく早目に、後掲6に則り、編集委員会（担当…佐藤）に問合わせてほしい。
3. 審査を通過した論文の校正は一回限りである。校正では、最低限の修正（誤字、脱字等の訂正）にとどめること。研究助成への謝辞の追記は認める。
4. 欧文タイトルについては、それが適確に和文タイトルを表現しているか否かをよく吟味し、可能であれば、native checkにかけていただきたい。
5. Mac/Zipファイルを作成する場合、Windowsで展開しても文字化けしないようにするためのソフトを使用すること。文字化けを起こす場合は、圧縮しない形でのファイルの再送を依頼することがあるので、あらかじめご了承ください。
6. 法学政治学論究への掲載証明申請を含む問合わせは、投稿規程十一のメールアドレス宛に行うこと。その際には、住所・電話番号のほか、問合わせ時の身分や所属、メールアドレスを明記されたい。
7. 最近、本学法学研究科以外の研究機関に所属する方からの投稿が増えており、良い傾向だと考えている。本誌の投稿資格は本学法学研究科在籍者以外にも開かれている。今後も奮ってご投稿いただきたい。
8. 最近、投稿規程を十分に確認していないことに起因すると思われる形式不備が目につく。編集事務室からの修正指示があるときを除き提出後の原稿差替えは認めないので、提出前に確認を徹底されたい。
9. 法学研究科ウェブサイトの全面刷新（二〇二三年三月）に伴い、本誌のウェブサイトのURLも変更された。本号掲載の投稿規程「八 応募方法」に記載してあるURLは変更後のものである。
10. 第一四二号（応募期間…二〇二四年五月一日～一五日）から、本誌を横組みに変更し、また、連載（二回まで）を認めることとなった。第一四〇号の末尾に新投稿規程を掲載する。

（二〇二三年九月二〇日、佐藤拓磨記）